
公衆衛生看護活動論Ⅱ

岩村 龍子 教授
岡本 光代 准教授
辻本 宏美 助教

3年次後期・保健師コース必修

1単位・30時間

【概要・目的】

地域住民の健康の向上を目指し、既存資料や実習で収集した地域の健康に関する多角的な情報をもとに地域診断を行うことで健康課題を明らかにし、その健康課題の解決・改善に向けた活動計画を立案する。これらの一連の過程を通して、地域生活集団（コミュニティ）を対象とした地区活動の展開方法を習得する。なお、本科目は公衆衛生看護実習Ⅰと連動して展開する。

【到達目標】

- 1) 地域の健康課題を抽出するための情報収集・アセスメントの方法を説明する。
 - 2) 地域診断により地域の健康課題を明らかにする。
 - 3) 地域の健康課題の解決・改善に向けた活動計画・保健計画のあり方、計画の策定方法について説明する。
 - 4) 地域の健康課題の解決・改善に向けた活動計画を立案する。
 - 5) 地域生活集団（コミュニティ）の健康課題に対応する地区活動の展開のあり方を考察する。
-

【内容・スケジュール】

- 1) 地区活動の展開1（地区活動の目的・方法、基本的な考え方）
 - 2) 地区活動の展開2（地域診断の考え方、方法）
 - 3)～5) 地域診断（演習：既存資料からの情報整理、実習での情報収集計画作成）
 - 6)～7) 地区活動の展開3（地区活動における家庭訪問の意義、方法）
 - 8)～11) 地域診断（演習：実習で収集した情報の整理とアセスメント）
 - 12) 地区活動の展開4（活動計画立案）
 - 13)～15) 活動計画立案・発表（演習：健康課題に対応する保健事業・活動の計画作成）
-

【評価】

筆記試験（60%）、演習内容・記録（30%）、出席状況および参加態度など（10%）により評価する。ただし、筆記試験は6割以上の得点を必要とする。

【教科書】

宮崎美砂子他編「最新公衆衛生看護学総論第3版」日本看護協会出版会

【推薦参考図書】

佐伯和子編著「地域看護アセスメントガイド第2版」医歯薬出版株式会社

【その他】

- ・事前に教科書の該当ページを読んで履修すること。